

みずほCustomer Desk Report 2017/06/14 号(As of 2017/06/13)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	109.98
					GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	109.93	1.1197	123.09	0.9691	1.2671	0.7548
SYD-NY High	110.27	1.1225	123.75	0.9700	1.2757	0.7565
SYD-NY Low	109.83	1.1186	123.03	0.9662	1.2643	0.7525
NY 5:00 PM	110.08	1.1211	123.41	0.9688	1.2753	0.7537
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)		7.56/7.91	△25RR	0.953	Yen Call Over	
NY DOW	21,328.47	92.80	債券市場	日本2年債	-0.1000	0.7bp
NASDAQ	6,220.37	44.90		日本10年債	0.0640	0.6bp
S&P	2,440.35	10.96		米国2年債	1.3633	0.8bp
日経平均	19,898.75	▲9.83		米国5年債	1.7813	0.3bp
TOPIX	1,593.51	1.96		米国10年債	2.2109	▲0.4bp
シカゴ日経先物	19,960.00	110.00	為替市況	独10年債	0.2660	1.7bp
ロンドンFT	7,500.44	▲11.43		英10年債	1.0330	6.6bp
DAX	12,764.98	74.54		豪10年債	2.3980	▲0.3bp
ハンセン指数	25,852.10	144.06		USD/CNH	6.7883	▲0.0073
上海総合	3,153.74	13.87		ドルインデックス	96.98	▲0.16
USDJPY 3M Vol	7.96	▲0.26%	商品市況	CRB指数	175.835	▲0.10
USDJPY 6M Vol	8.64	▲0.20%		NY金	1,268.60	▲0.30
EURJPY 3M Vol	8.30	▲0.22%		WTI	46.46	0.38
EURJPY 6M Vol	9.06	▲0.27%		Dubai Spot	47.22	0.13

東京	ドル円は109.92レベルでオープン。前日比マイナスで寄り付いた日経平均が下げ幅を戻す展開となるにつれ、ドル円も徐々に上昇。110円を上抜けて一時110.11まで値を上げた。その後は翌日にFOMCを控える中特段新しい材料もなく、日経平均が前日比ほぼ変わらずの水準でもみ合いとなる中、ドル円も徐々に膠着感が強まって110円を挟んだレンジ推移となり、結局110.03レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は110.03レベルでオープン。昨日NY時間にウィルキンス・カタ銀行副総裁が「BOCは緩和策縮小の必要性について査定する」と述べたことでテバリングの思惑が浮上し、欧州勢参入後もカタドル円が堅調に推移。つられてドル円もこの日の高値110.27まで値を上げたが、その後は徐々に下落し、110.03レベルでNYに渡った。英5月CPIは、1.2678でオープン。英5月CPIは前年比+2.9%と、予想の+2.7%を上回ったが、既に指標発表前から期待感で買われていたため、結果を確認した後は利益確定で上値は限定された。その後、独財務相が「英国がEU離脱撤回したければ扉は開いている」と発言すると1.2736まで買われ、1.2731レベルでNYに渡った。ユードルは1.1194でオープン。独財務相が「ECBは現行の金融政策から『適宜』脱却する必要がある」との見方を示した上で、「極めて低い金利は世界の一部地域で問題を引き起こしている」と警告したこと、ECBのテバリングが意識されたものの、ドイツ南部ミュンヘン近郊の地下鉄の駅で銃撃事件が起こったことが嫌気されたためか、上値は限定され、1.1218レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	海外時間のドル円は特段材料の無い中方向感無き推移し110.03レベルでNYオープン。朝方発表された米5月PPI(前月比)が予想を上回ったことから、ドル円は110.22まで上昇。しかし、海外時間高値の110.27が意識されたことや、WTI原油の下落を受けて109.90まで反落。その後、続落していたIT関連株の持ち直しなどから米株が堅調に推移する中、110.13まで値を戻した。午後は翌日にFOMCを控えるドル円は閑散な取引となり、ダウ、S&P500が最高値を更新したものの、ドル円は110.00付近での狭いレンジでの推移が続く。110.08レベルでクロスした。なお、午後に行われたセッション、米司法長官の公聴会では、トランプ大統領や前FBI長官に対する目立った発言は無く、市場への影響は限定的となった。また、ドル/カタドルは昨日のウィルキンス・カタ中銀上級副総裁の効率的な発言に続き、この日のNY時間朝方にボラ・カタ中銀総裁の「利下げは経済をショックから守るという役割を果たした」との効率的な発言を受けてカタドル買いが強まり、1.3287から1.3212まで続落した。一方ユードルは、1.1218レベルでNYオープン。朝方は強い米5月PPIを受けてドル買いが強まると1.1201まで下落。その後は、ロンドン時間に発表された英5月CPI(前年比)が予想を上回り、ポンド買いが強まる中、ユーロ/ポンドが一時的に下落したことから、ユードルも連れ安となり1.1192まで下落。しかし、積極的に下値を追う展開とはならず、1.1211レベルまで値を戻してクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:橋・岡本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月13日	17:30	英 CPI(前月比/前年比)	5月 0.3%/2.9%	0.2%/2.7%
	18:00	欧 ZEW調査(期待)	6月 37.7	-
	18:00	独 ZEW調査(現状/期待)	6月 88.0/18.6	85.0/21.7
	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	5月 0.0%/2.4%	0.0%/2.3%

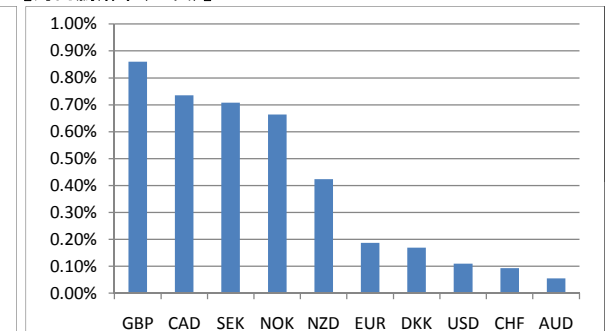
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月14日	11:00	中 小売売上高/鉱工業生産/固定資産投資(前年比)	5月 10.7%/8.8%/6.4%	10.7%/8.9%/6.5%
	15:00	独 消費者物価指数・確報(前年比)	5月 -0.2%/1.5%	-0.2%/1.5%
	17:30	英 ILO失業率	4月 4.6%	4.6%
	18:00	欧 鉱工業生産(前月比/前年比)	4月 0.5%/1.4%	-0.1%/1.9%
	21:30	米 消費者物価指数(前月比/前年比)	5月 0.0%/2.0%	0.2%/2.2%
	21:30	米 消費者物価指数・コア(前月比/前年比)	5月 0.2%/1.9%	0.1%/1.9%
	21:30	米 小売売上高/除く自動車I(前月比)	5月 0.0%/0.2%	0.4%/0.3%
6月15日	3:00	米 FOMC政策金利発表	- 1.00-1.25%	0.75-1.00%
	3:30	米 イエレンFRB議長会見	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.70-110.30	1.1180-1.1240	122.90-123.60

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場のドル/円相場は、動意に乏しい展開。米5月PPI(除:食品・エネルギー)が市場予想を上回ったことで、ドル買い優勢となり、110.22円まで上昇したが、WTIの下落を背景に110円を割り込む場面も見られ、110.05-10.10レベルでクロス。本日の東京時間は、引き続き動意に乏しい展開を予想する。東京時間明日未明に予定されるFOMCの結果公表を控え、様子見ムードが高まりやすく、110.00を挟んだ小動きに終始することになりそうだ。